

● 7月13日(日) 曇のち快晴 移動(札弦～清里～標津～野付半島～厚岸)

○朝 4 時前に外を見るとすっかり曇っている。ヤフーの天気予報を見ると、北海道は気圧の谷が接近していて天気が悪く、特に道東は今日から明日へと天気が下り坂、明日は一日雨となっている。天気が回復するのは 15 日頃からで、15,16,17 の 3 日間は晴天になる。

その後はまた下り坂になるという。

・今後の予定を大幅に変更し、予定していた斜里岳とカムイヌプリはやめて、晴天が期待できる 16 日に絞って、大雪山・緑岳へ花を見に行くことにした。

(一人旅はこういう大変更が簡単に決められるからいい)。

今日から 3 日かけて層雲峡へ向かう。初日の今日は厚岸に泊まることに決定した。

・8時過ぎに道の駅「パパスランド」を出発しまず北の清里へ出てから標津・野付へと南下する。早朝曇っていた空は、出発するころには青空が顔を出して明るくなってきた。斜里岳が雲の上に顔を出したり引っこめたりしている。「今日斜里岳へ登ってもよかったかな」などと未練がましく、斜里岳の麓、ピンクの花が満開できれいなジャガイモ畑のなかの道を標津へ向けて車を走らせた。



道の駅の朝(曇っている)



斜里岳の麓・ジャガイモ畑を走る

・標津町へ着くころにはすっかり晴れわたり太陽の日差しが暑い。以前にも来たことのある標津町のサーモン科学館へ寄り「サケの水族館」に入場料 610 円を払って入ってみた。

千歳の「サケのふるさと館」は何回も(今年も)入っているのですが、同じようなものだろうとあまり期待はしなかったが、ここはここなりにいろいろ工夫を凝らしていて、まあまあ面白かった。展望台から見たら昨日登った武佐岳が昨日は快晴だったが今日は雲の中に隠れていた。



標津町・サーモン科学館



水族館展望台からの眺め・武佐岳は雲の中

・ 標津町を出てそのまま野付半島へ入ります。半島の先端・竜神岬の灯台まで約 20kmある。以前も来たことがあるが、その時は一面の霧で何も見えず寒かったのを覚えている。

今日は快晴。

道脇の草原に黄色のエゾカンゾウが一面に咲いているのを楽しみながら竜神岬を目指して快適に走った。



快晴の野付半島を快適に走る

・ 再奥の舗装車道が切れたところに駐車場があり、その先が「野付原生花園」で砂利道が続いているが「関係車両以外進入禁止」になっている。

もちろん遊歩道はあるが、一面に霧が漂い、人もいなくて寂しい。たいした花もなさそうなので、岬灯台を遠くから眺めて早々に引き返した。



岬灯台を眺めて引き返した



ネイチャーセンター・トドワラ遊歩道入口

- ・ 途中に野付半島ネイチャーセンターがあり、ここが観光の中心だ。
- ・ 駐車場から「トドワラ遊歩道」を歩いてハマナスやエゾフーフロ、センダイハギなどの花を楽しんだ。遊歩道の脇には砂利道が通っていて、遊覧馬車がトドワラまで往復していた。



トドワラ遊歩道は花がいっぱい



遊覧馬車が横を走る

・快晴の 244 号線を快適に南下し、本日の泊予定地、道の駅「厚岸グルメパーク」に着いたのが 15 時。レストラン「コンキリエ」が懐かしい。



・人気の道の駅であり、日曜日で晴天ということで厚岸湖を見下ろす高台にある駐車場は満車に近い。私の隣に駐車した車は、トヨタの軽 pixis van で諏訪の年配のご夫婦が乗っている。私が止めようとした場所に止めたいというので「どうぞ」と譲ったら、大変感謝され冷えたビールをいただいた。



・6 時になったのでコンキリエに食事に行った。以前来た時と同じ構えで変わっていない。前回食べて旨かったのが今回も楽しみにして来た「カキの単品」が無い！仕方なく「カキのすきやき風丼」にした。まあそれなりに旨かった。2 階のレストラン「コンキリエ」の隣にカキの網焼きを食わせる専門店「炙り屋」という店ができていて、席料が一人 300 円、カキはバケツで買って網の上で焼いて食べる。大勢で食べるには良いが、一人ではちょっと勝手がわからず、食いたいけど我慢した。



- ・直人から電話が入り「今日ゴルフの帰りに伊勢原の我が家に寄ってる」と。
- ・夜中 10 時ごろ大雨になった。雨音を聞きながら熟睡に入った。明日の天気はどうか？